



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク議会通信

発行：つくば市議会会派 つくば・市民ネットワーク
北口ひとみ・宇野信子・皆川幸枝

2016年9月

茨城県つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F
Tel&Fax:029-859-0264 http://tsukuba-net.jp
tsukubahotnet@ybb.ne.jp

総合運動公園の調査特別委員会が終わりました!



昨年8月2日に実施された(仮称)つくば市総合運動公園基本計画に係る住民投票は、反対が8割にのぼり、結果、白紙撤回されました。

つくば市議会では、この結果を重く受け止め、反対が8割にものぼる事業が、「なぜここまで押し進められてきたのか」検証と今後のスポーツ施設のあり方について検討するため「調査特別委員会」を設置しました。

3回の検証と2回のあり方検討を終え、9月議会の最終日、市議会としての報告を発表しました。(つくば市議会HP、各交流センター等で報告書を公表しています。詳細はそちらをご覧ください。)

検証については、各会派で大きく意見が異なったため、それぞれの意見を併記することとなりました。つくば・市民ネットワークでは以下のような検証のまとめをしています。

1. 巨額な事業なのに、着手前に議会・市民への説明も意向調査もなかった。
2. 基本構想の着手前に、庁内で「高エネ研南側未利用地(独)都市再生機構URの所有地)」に決めており、URとの土地購入の交渉も始めていた。
3. 維持管理費や補助金の見込みなど、全体の財政計画について根拠があいまいだった。
4. 土地取得時の価格交渉の元となった不動産鑑定に疑義があるが説明されていない。
5. パブリックコメントが終わらないうちに「高額な土地取得」の議案を提案し、議決を迫った。

などです。

交渉や意思決定の過程などの記録がないものが多く、66億円もの土地購入にもかかわらず、ずさんな進め方であった点は否めません。

この検証結果から、つくば・市民ネットワークでは、長年買い手のつかなかった広大なURの土地を購入するために、巨大な計画を描いた可能性もあると推察しています。

総合運動公園に関する議決結果

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	日本共産党	山中八策の会	つくば自由民主党	つくば維新の会	新社会党	つくば政清会	民主党	公明党	つくば市民政策研究会	筑峰クラブ
2014年3月 総合運動公園の用地を約66億円ですべてURから買い取る議案	可決	×	×	×	×	×	議長	○ ×:ヘイズ	○	○	○	○
2015年3月 総合運動公園関連予算をストップする修正案	可決	○	○	議長	○	○	○	× ○:木村修	×	× 退席:山本	×	×
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 議員数28 (ヘイズは県議選出馬のため2014年12月で辞職)		*北口 宇野 皆川	*滝口 田中 橋本	*塩田	*五頭 久保谷 神谷 小久保	*黒田	*金子	*塚本 大久保 木村修 (ヘイズ)	*木村清	*小野 浜中 山本	*古山 須藤、柳沢、 高野、飯岡、 松岡	*鈴木

住民投票の会 住民投票運動記録集
市民参加 おおきな一歩



1冊 500円

多くの市民が関わり活動した記録集です。
ご希望の方は、市民ネット事務局までご連絡ください。